

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】

2

### 緑のカーテン作りへの協力のお願い

6年1組 森・中村・秋山

#### 緑のカーテンとは

夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることになりました。

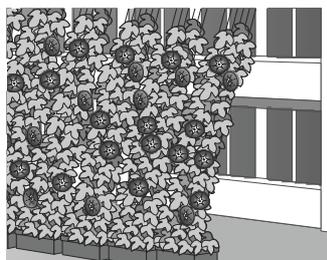
緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれませんが、しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げるすることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

#### 緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。



水やりに協力してくれる人をぼ集めます

カーテン作りへの協力のお願い】森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の【緑のカーテン作りへの協力のお願い】を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

— 森さんたちは緑のカーテンを知らない人にも、緑のカーテンが必要な理由を伝えようと、文章の構成をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 夏の教室が暑いとどう困<sup>こま</sup>るのかの具体例を、最初に書いている。
- 2 最初と最後の段落<sup>だんらく</sup>に、水やりに協力してほしいということを書いている。
- 3 緑のカーテンの作り方について要約した文章を、最初に書いている。
- 4 緑のカーテンの説明を、緑のカーテンの作り方の前に書いている。

二 森さんたちは、次の【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために、本から文を引用して

ア

の部分を書きました。引用するのに最も効果的な文を、あとの【『緑のカーテンを始めよう』の

一部】の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

### 【友達の考え】

緑のカーテンでどれぐらいすずしくなるのかなあ。私は布のカーテンをしめればだいじょうぶだと思うよ。



### 【『緑のカーテンを始めよう』の一部】

文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

- ① 緑のカーテンは外から部屋に入ってくる熱をどれぐらい防ぐことができるのでしょうか。
- ② 緑のカーテンでおおった場合と、布のカーテンをしめた場合とで比べてみました。③ 実験から、布のカーテンでは熱の3割わりしか防ぐことができませんが、緑のカーテンでは8割も防ぐことができます。④ 緑のカーテンでおおうことによって、冷房れいぼうの設定温度を上げることもできます。

## 【アドバイス】

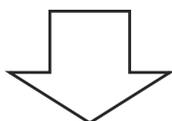
去年、わたしたちも緑のカーテンを作ったよ。おかげですずしい夏が過ごせたんだ。でも、水やりがとても大変だったなあ。

まず、毎朝水をやらないとすぐにかれてしまうんだ。朝、水やりをわすれて、昼休みにあわてて見に行ったらしおれかけていたこともあったよ。

それから、大きな緑のカーテンを作るためには、たくさんの植木ばちに水をやる必要があるんだ。植木ばちの数はどのくらい大きな緑のカーテンを作るかで変わってくるよ。

水やりは大変だったけれど、すずしい夏が過ごせて、みんなも喜んでくれて本当にうれしかったなあ。

何かこまったことがあったらいつでも相談にのるよ。がんばって作ってね。



### 水やりに協力してくれる人をぼ集めます

大きな緑のカーテンを作るためには水やりが大切です。しかし、水やりはとても大変です。

なぜなら、

イ

このように水やりはとても大変なので、たくさんの人の協力が必要です。協力してくれる人はわたしたちに声をかけてください。ぜひいっしょに大きな緑のカーテンを完成させ、全校ですずしい夏を過ごしましょう。

三 森さんたちは、緑のカーテンを作ったことのある中学生からの【アドバイス】をもとに、【緑のカーテン作りへの協力のお願い】の [ ] の中を書いています。次の [ ] の中の [ ] に  
入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。





2

— 4

二 ③

※◆の印から書きましょう。  
とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

例	な	ぜ	な	ら	、	◆	毎	朝	水	を	や	ら	な
	い	と	い	け	な	い	し	、	大	き	な	緑	
	の	カ	ー	テ	ン	を	作	る	た	め	に	、	
	た	く	さ	ん	の	植	木	ば	ち	に	水	を	
	や	る	必	要	が	あ	る	か	ら	で	す	。	